



《晴れ行く石鎚》1975年 個人蔵

小泉政孝展

石鎚への道

2020年

8月23日(日) ~ 11月1日(日)

休館日: 月・火曜日(祝日は開館)

開館時間: 午前9:30~午後5:00(入館は午後4:45まで)

入場料: 一般600円、高大生300円、中学生以下無料

※65歳以上の方は年齢確認ができるものをご提示いただければ前売り料金となります。

※障害者手帳をご持参の一般の方はご本人と同伴者1名様までは300円となります。

主催: ミウラート・ヴィレッジ(三浦美術館)

協賛: 株式会社ミウラ

後援: 愛媛県教育委員会、松山市教育委員会、愛媛新聞社、NHK松山拠点放送局、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、愛媛CATV、FM愛媛

協力: 愛媛県、愛媛県美術館



《瓶》1952年 愛媛県美術館蔵



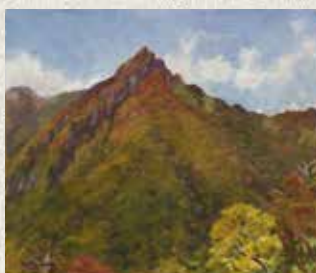
《白銀》1982年 個人蔵



《冬木立》1995年 ミウラート・ヴィレツジ蔵



《あけぼのつつじの頃》1982年 愛媛県蔵



《石鎚初秋》1989年 ミウラート・ヴィレツジ蔵



《農家の庭》1942年 個人蔵

小泉政孝展

～石鎚への道

2020年 8月23日(日) ～ 11月1日(日)

ミウラート・ヴィレツジでは、「小泉政孝展～石鎚への道」を開催いたします。

小泉政孝氏(1916-2011)は、愛媛の芸術文化・教育の発展に多大な功績を残した芸術家の一人です。愛媛県美術会の創設、愛媛県立美術館(現南館)の建設に力を尽くし、また教育者としても、愛媛の美術界を支える多くの芸術家を輩出しました。このような活動を行いながらも自身の制作に対して常に全力で取り組み、数多くの風景画を描きました。小泉氏は身近な自然の風景をこよなく愛し、その風景を見つめながら現場で描くことを大切にしていました。刻々と変化する自然に惹かれ、それはいつしか愛媛が誇る大自然・石鎚への憧れとなり、様々な表情をみせる石鎚を小泉氏の眼で捉えた作品は今も人々を魅了し続けています。本展では石鎚を描いた作品を中心に約40点の風景画をご紹介します。小泉氏の人柄が溢れる柔らかな作品群を是非ご覧ください。

オープニングイベント

久保収三氏(画家) 矢野徹志氏(ミュゼ里山房オーナー) による講演会

2020年8月23日(日) 午後2:00～2:30

小泉政孝氏の教え子である久保収三氏と矢野徹志氏に、小泉氏との思い出を語っていただきます。同期であるお二人ならではの話をとお楽しみください。

※事前申込不要。入場料のみで参加いただけます。

次回展覧会

水彩画展(あべとしゆき、中村愛)

2020年11月15日(日)～2021年1月31日(日)



アクセス

◆JR松山駅から市内電車にて松山市駅へ、伊予鉄バス北条行き「内宮バス停」又は「花見橋バス停」下車 徒歩約15分
◆松山空港から約11km ◆松山I.C.から約16km ◆今治I.C.から約35km

MIURART VILLAGE
MIURART

ミウラート・ヴィレツジ(三浦美術館)

〒799-2651 愛媛県松山市堀江町1165-1

TEL089-978-6838 FAX089-978-0323

<http://www.miuraz.co.jp/miurart>

E-mail:miurart@miuraz.co.jp

駐車場:30台と土・日・祝日は臨時駐車場(三浦工業
福角駐車場約250台)をご利用いただけます。